

愛宕山・新年会

(924m)

実施日： 01月06日（火）

天候： 晴

参加者： 10名 青木、川井、園田、田中、中原、檜崎、細田、牧野、増尾、園田

行程： 清滝バス停 7:30→7:36 金鈴橋 7:40→7:52 最後尾待ち 7:57→8:00 火燧権現 8:02→8:12
20丁目一文字屋跡 8:17→8:35 茶屋跡東屋 8:45→9:05 五合目休息所 9:14→9:50 水尾分かれ
9:55→10:20 黒門→10:41 愛宕神社 11:07→11:52 水尾分かれ 11:57→12:39 净水場 12:44
→12:49 丸源

登山組の9人が阪急嵐山駅に集合し、7:12発の京都バスで清滝に向かう。渡月橋を渡る時、日の出を見る。清滝バス停をスタートし、金鈴橋まで下り、トイレなど身支度をして、鳥居をくぐって、さっそくの急登を上る。毎年の事なれど、しんどい歩き出した。20分程上り、火燧権現で衣服調整の小休止。また10分程上り、一文字屋跡で立ち休憩。更に急登をこなし、20分程で茶屋跡の東屋にて小休止。そして、また20分程の上りを経て、五合目休息所の東屋で小休止。ここからは、傾斜は少しなだらかになる。少し上り今は無くなった酒樽のあった平坦地から、朝日を受け反射する桂川の流れが良く見える。更に上って行き展望の効くところからは、亀岡駅裏の京都サンガのスタジアムが良く見える。更に上り、水尾の分かれに。ここらあたりから雪が少し積もっている。黒門は雪の中。そして水平参道を歩き、最後の石段を注意して愛宕神社に上る。

社務所前のストーブの部屋に入る。数人の先行者は居るもの、今日は参拝者がいつもより少ない。古いお札を返して、お参りする。そしてお神酒を頂き、新しいお札を求めたり、おやつを食べたりして過ごし、神社前で集合写真を撮って、下山開始。雪は5センチほどで、アイゼン無しで上って来たが、下りはどうする？なんとかアイゼン無しでも行けそうなので、注意して下る。黒門を通過し、水尾の分かれまで下り、最後の一人を待つ間、先に順次下り開始して、ゆず風呂に順番に入ることにする。水尾への下りは一本調子の下りで、これはこれでしんどい下りである。

新年会には川井さんも参加され、三つの鍋で亀岡産地鶏のすき焼きで新年会スタート。飲みかつ食って、盛り上がり、誰かがヘリコプターに乗った事が大きな話題になり、突っ込み上手な人もいて、大笑い。なんで乗ることになったか？それは言わないのでおこう。鍋も食べ終わり、最後にいつものごとく、おじやにして食べる。お土産も買って、玄関口で全員での写真を撮り、送迎の車二台でJR保津峡駅に送ってもらう。お天気に恵まれた今年最初の企画であった。

歩行距離 9.26Km 累積上り 890m 累積下り 718m



1, 渡月橋から見る日の出



2, 鳥居をくぐり、さっそくの急登へ



3, 茶屋跡の東屋を目指す



4, 茶屋跡の東屋目前



5, 五合目休息所目指す



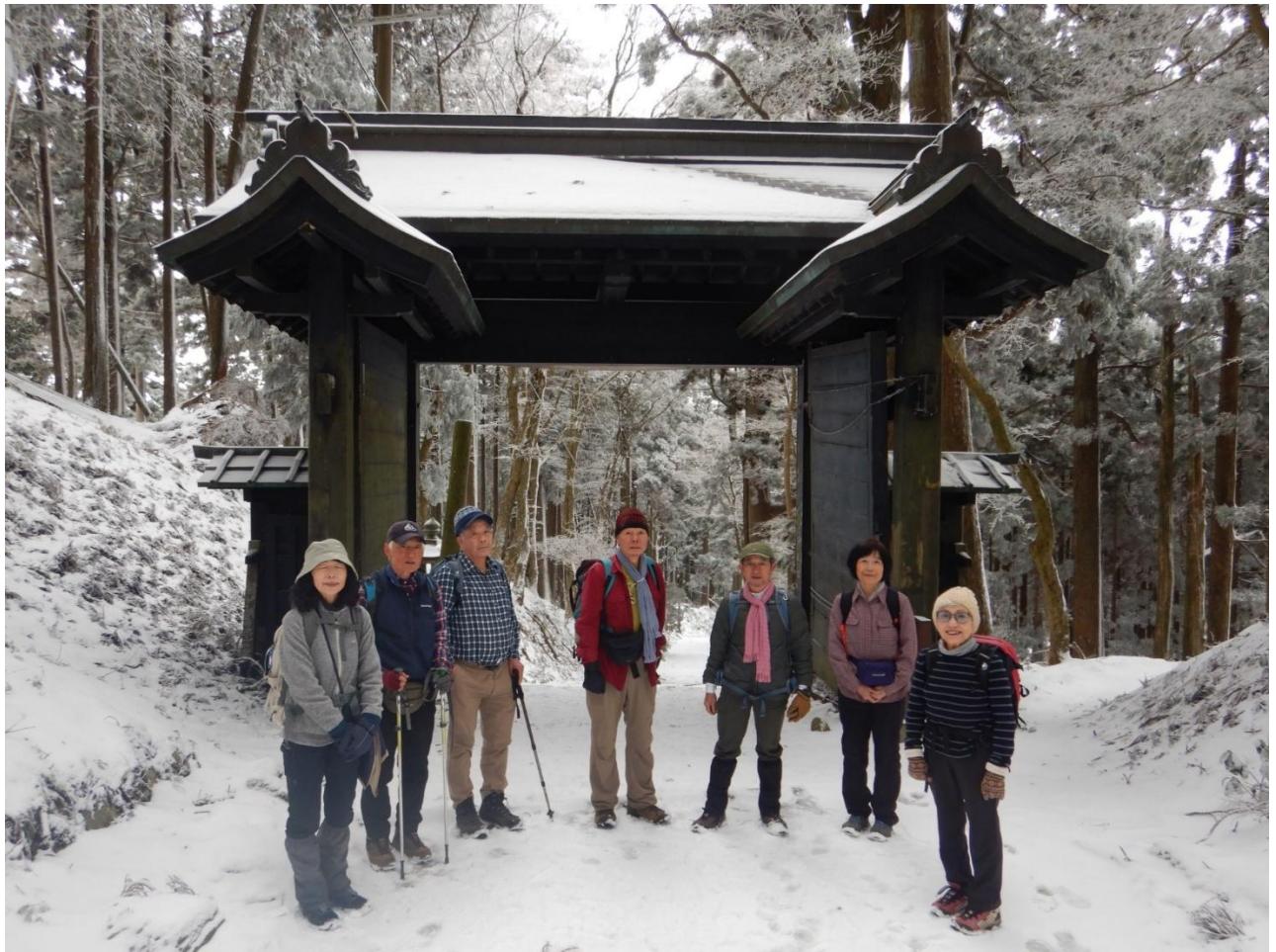
6, 朝日に反射し、桂川の流れが良く見える



7、桂川の流れ



8、水尾分かれから上は雪景色



9, 黒門にて



10, 最後の石段に



11, 凍った石段をアイゼン無しで、注意して上る



12, 愛宕神社にて、下山前



13, 水尾への一本調子の下り



14, とりスキで新年会スタート



15, 宴もたけなわ



16, 丸源にて全員、また来年も